

ふくし かん ちょうさひょう
福祉に関するアンケート調査票

しんたいしょうがいしゃ ちてきしょうがいしゃ なんびょうかんじゃよう
【身体障害者・知的障害者・難病患者用】

かいとう しかた ねが
＜回答の仕方とお願い＞

- このアンケートは、令和元年12月31日現在、障害者手帳を持っている方などから、無作為に選ばせていただいた方にお送りしています。
- このアンケートには、お名前を記入する必要はありません。
- 回答はできるだけあて名のご本人が記入してください。ただし、障害の状況や年齢などによって、ご本人が記入できない場合には、ご家族や介助者の方が、ご本人の意見を聞きながら、もしくはご本人の気持ちを考えながら記入してください。
- 回答は令和2年2月1日現在の状況を記入してください。
- 回答は特に指定のない限り、あてはまる番号に○を付けてください。また、記入欄には、具体的にその内容を記入してください。
- 回答が難しい（わからない）設問やプライバシーに関することなど回答したくない設問については、無理に回答していただく必要はありません。
- 記入していただきましたアンケートは、令和2年2月28日（金）までに、同封の封筒に入れて、切手を貼らずにポストに入れてください。

「あなた」(あて名となっている方) のことについておたずねします

問1 「あなた」は、次の手帳を持っていますか。

持っている場合はその内容をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

<p>1 身体障害者手帳 <small>しんたいしょうがいしやてちよう</small></p>	<p>1 1級 4 4級 2 2級 5 5級 3 3級 6 6級 <small>きゅう</small></p>	<p>1 視覚障害 <small>しかくしょうがい</small> 2 聴覚・平衡機能障害 <small>ちようかく へいこうきのうしょうがい</small> 3 音声・言語・そしゃく機能障害 <small>おんせい げんご</small> 4 肢体不自由 <small>したいふじゆう</small> 5 内部障害 <small>ないぶしょうがい</small> (心臓、腎臓、呼吸器など) <small>しんぞう じんぞう こきゅうき</small></p>
<p>2 療育手帳 <small>りよういくてちよう</small></p>	<p>1 A 3 B2 2 B1</p>	<p>1 統合失調症、妄想性障害、 統合失調感情障害 <small>どうごうしつちようしやう もうそうせいしょうがい</small> 2 気分(感情)障害(躁うつ病・うつ病を含む) <small>きぶん かんじよう しょうがい そう</small> 3 不安障害、ストレス関連障害、 身体表現性障害、解離性障害 <small>ふあんしょうがい かんれんしょうがい</small> 4 てんかん 5 その他()</p>
<p>3 精神障害者 保健福祉手帳 <small>せいしんしょうがいしや ほけんふくしてちよう</small></p>	<p>1 1級 3 3級 2 2級 <small>きゅう</small></p>	
<p>4 手帳は持っていない</p>		

問2 「あなた」は現在、次の障害などの診断をされていますか。

(あてはまるものすべてに○)

<p>1 発達障害 <small>はったつしょうがい</small></p>	<p>障害の内容をお答えください。(あてはまるものすべてに○) <small>しょうがい ないよう こた</small> 1 広汎性発達障害(自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、自閉症スペクトラム) <small>こうはんせいはったつしょうがい じへいしやう こうきのうじへいしやう</small> 2 学習障害(LD) <small>がくしゅうしょうがい</small> 3 注意欠陥多動性障害(AD/HD) <small>ちゆういけつかんたどうせいしょうがい</small> 4 その他()</p>
<p>2 高次脳機能障害 <small>こうじのうきのうしょうがい</small></p>	
<p>3 難病 <small>なんびやう</small></p>	<p>さしつかえなければ、疾患名をご記入ください。 <small>しつかんめい きにゆう</small> ()</p>
<p>4 いずれもない</p>	

とい
問3 「あなた」は、普段どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1 配偶者 (妻または夫) | 8 祖父 |
| 2 父親 | 9 祖母 |
| 3 母親 | 10 孫 |
| 4 子ども | 11 親戚 |
| 5 子の配偶者 (男性) | 12 その他 () |
| 6 子の配偶者 (女性) | 13 いない (ひとりで暮らしている) |
| 7 兄弟・姉妹 | |

とい
問4 「あなた」の年齢はおいくつですか。

() さい 歳

とい
問5 現在、40歳以上の方におたずねします。(39歳以下の方は、次のページの問6へ)

「あなた」は、介護保険サービスの要介護認定を受けていますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|--------|----------|
| 1 受けていない | 5 要介護2 | 9 非該当 |
| 2 要支援1 | 6 要介護3 | 10 わからない |
| 3 要支援2 | 7 要介護4 | |
| 4 要介護1 | 8 要介護5 | |

とい
問5 (1) 問5で「2」～「9」のいずれかに回答された方におたずねします。

「あなた」は、障害福祉サービスから介護保険サービスに移行して、困ったことなどはありますか。あれば、その内容をご記入ください。

()

ほけん いりょう
保健・医療についておたずねします

とい
問6 「あなた」は現在、継続して定期的な医療にかかっていますか。(1つに○)

- 1 通院（または往診）している
- 2 入院している
- 3 定期的な医療にはかかっていない

とい
問7 「あなた」は、医療機関を受診するときに困っていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 通院の交通手段が確保・利用しにくい
- 2 通院の付き添いがいない
- 3 病院内での付き添いがいない
- 4 医師とのコミュニケーションができない
- 5 専門的な医療機関が近くにない
- 6 ちょっとした病気やケガを受け入れる医療機関が近くにない
- 7 いくつもの医療機関に通わなければならない
- 8 気軽に往診を頼める医師がいない
- 9 歯科など、特定の診療科目で治療を受けることが難しい
- 10 医療費の負担が大きい
- 11 医療機関の施設や設備が障害のある方にも利用できるよう配慮されていない
- 12 その他 ()
- 13 特に困っていない

とい 問10 「あなた」が福祉サービスを利用しやすくするためには、どのような支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 どのようなサービスがあるのか、もっと情報がほしい
- 2 利用についての申請や手続き方法をわかりやすくしてほしい
- 3 自分にとって何が必要なサービスかが判断できるような手助けがほしい
- 4 利用の条件を緩やかにしてほしい
- 5 手続きにかかる時間を短縮してほしい
- 6 サービスの回数や時間を増やしてほしい
- 7 身近な場所でサービスを受けられるようにしてほしい
- 8 サービスの質を良くしてほしい
- 9 費用負担を軽くしてほしい
- 10 その他 ()
- 11 特になし

とい 問11 「あなた」が福祉サービスを利用する場合や日常生活において支援を受ける場合に、家族や親しい友人など以外で相談する人や場所はどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 保育所(園)・幼稚園・学校
- 2 職場
- 3 病院・診療所(医療相談)
- 4 サービスを受けているところ(施設・作業所・事業所)
- 5 ケアマネジャー
- 6 ヘルパー
- 7 市役所の職員
- 8 相談支援事業所などの民間の相談窓口(相談支援専門員など)
- 9 地域包括支援センター(介護保険制度に基づく高齢者の相談窓口)
- 10 民生委員・児童委員
- 11 障害者相談員
- 12 障害者団体や家族会、患者会
- 13 発達障害者支援センター
- 14 難病相談センター
- 15 その他 ()
- 16 家族や親しい友人以外に相談する人はいない
- 17 相談するところがわからない
- 18 相談しない(することがない)

こよう しゅうろう
雇用・就労についておたずねします

とい 問12 「あなた」は現在、就労をしていますか。(1つに○)

- 1 正規の社員・従業員として働いている(自営業を含む)
 2 パート・アルバイトとして働いている(家業手伝いを含む)
 3 作業所など(就労継続支援A型・就労継続支援B型・地域活動支援センター・
 その他作業所など)に通っている

4 仕事はしていない → 次のページの間12(4)へ

とい 問12(1) 問12で「1」～「3」のいずれかに回答された方におたずねします。
 げんざい しょうば しゅうろうきかん
 現在の職場での就労期間はどのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 半年未満 | 3 1年～2年未満 | 5 3年～5年未満 |
| 2 半年～1年未満 | 4 2年～3年未満 | 6 5年以上 |

とい 問12(2) 問12で「1」～「3」のいずれかに回答された方におたずねします。
 げんざい しょうば へいきんげっしゅう おし
 現在の職場での平均月収を教えてください。

へいきんげっしゅう えん
 平均月収()円

とい 問12(3) 問12で「1」～「3」のいずれかに回答された方におたずねします。
 しごと うえ こま なや
 「あなた」は、仕事をしている上で困っていることや悩みがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

- 1 収入が少ない
 2 仕事が難しい
 3 今の仕事が自分にあっていない
 4 職場での身分が不安定(継続的に雇用されるか不安)
 5 職場の人間関係が難しい
 6 職場に定着するために相談する人がいない
 7 職場の施設や設備が障害のある方にも利用できるよう配慮されていない
 8 昇給や昇進が平等ではない
 9 通勤が大変
 10 その他()
 11 特にない

とい とい しごと かいとう かた
問12 (4) 問12で「4 仕事はしていない」と回答された方におたずねします。

にっちゅう せいかつ す
日中の生活をどのように過ごされていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 通所施設・事業所(デイサービスなど)に通っている
- 2 学校に通っている
- 3 病院などのデイケアに通っている
- 4 障害のある人たち同士の活動・集まりに通っている
- 5 家事・育児・介護をしている
- 6 家庭内で過ごしている
- 7 その他()

とい しょうがい かた はたら ひつよう じょうけん かんきょうせいび
問13 「あなた」は、障害のある方が働きやすくなるために必要な条件や環境整備は
なん おも
何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 勤務時間や日数を短縮する
- 2 通勤の手段が確保される
- 3 自宅で仕事ができる
- 4 フレックスタイムなどで自由な働き方ができる
- 5 勤務時間内でも通院できる
- 6 ジョブコーチから支援が受けられる
- 7 職業訓練を充実し、就労のための技術を身につける
- 8 仕事の相談やあっせんをする場を充実する
- 9 職場の施設や設備が障害のある方にも利用できるように配慮されている
- 10 あらゆる業種で障害のある方の雇用枠を増やす
- 11 事業主や職場の方たちが、障害のある方を理解してくれる
- 12 就労定着支援事業所などによる支援を充実する
- 13 職場での介助者が保障される
- 14 課題解決のための連絡調整やアドバイスなど、職場における相談体制を充実する
- 15 その他()

せいかつかんきょう いどう こうつう
生活環境、移動・交通についておたずねします

とい 問14 「あなた」の普段のお住まい、あるいは暮らしているのはどこですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1 持ち家 | 6 特別養護老人ホーム(入所) |
| 2 賃貸住宅(介護サービス付賃貸住宅などを含む) | 7 会社の寮 |
| 3 公営住宅 | 8 病院 |
| 4 障害者支援施設(入所) | 9 その他() |
| 5 グループホーム | |

とい 問15 「あなた」は、今後どのように暮らしたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 ひとりで暮らしたい | 4 障害者支援施設(入所)を利用したい |
| 2 家族といっしょに自宅で暮らしたい | 5 特別養護老人ホーム(入所)を利用したい |
| 3 グループホームを利用したい | 6 その他() |

とい 問16 「あなた」は、在宅で生活するために、どのような支援があればよいと思いますか。
 (あてはまるもの3つまでに○)

- 1 在宅で医療ケアなどが適切に受けられること
- 2 障害に対応した住居が確保されること
- 3 ホームヘルプなど、必要なサービスが適切に利用できること
- 4 生活訓練などのサービスが充実すること
- 5 年金や手当などが受けられること
- 6 経済的な負担(サービス利用や医療にかかる自己負担金など)が軽減されること
- 7 相談支援などのサービスが充実すること
- 8 地域住民の理解がすすむこと
- 9 定期的な巡回訪問や見守りがあること
- 10 生活を送る上での身のまわりの相談ができること
- 11 入院・入所中から地域移行に向けての支援が受けられること
- 12 緊急時に助けが受けられること
- 13 その他()
- 14 支援は必要ない

とい げんざい つうきん つうがく つういん じぎょうしょ つうしょいがい がいしゅつ
**問17 「あなた」は現在、通勤や通学、通院、事業所などへの通所以外で、どのくらい外出
 していますか。(1つに○)**

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1 ほとんど毎日外出している | 5 ごくたまに(月に2~3回など不定期に)外出している |
| 2 週4~5日くらい外出している | 6 その他() |
| 3 週2~3日くらい外出している | 7 ほとんど外出しない |
| 4 週1日くらい外出している | |

とい ひitori がいしゅつ
問18 「あなた」は、一人で外出することができますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 一人で外出できる | 3 介助者などがいても外出できない |
| 2 介助者などがいれば外出できる | |

とい とい かいじょしゃ がいしゅつ かいとう かた
**問18 (1) 問18で「2 介助者などがいれば外出できる」に回答された方におたずねします。
 「あなた」が外出する際の主な同伴者や必要な支援者は誰ですか。
 (あてはまるもの3つまでに○)**

- | | |
|---------|------------------|
| 1 同居の家族 | 5 ガイドヘルパーや施設の職員 |
| 2 別居の家族 | 6 手話通訳などの意思疎通支援者 |
| 3 親戚・友人 | 7 その他() |
| 4 近所の人 | |

とい がいしゅつ こま がいしゅつ
問19 「あなた」が外出のときに困ったり、外出をとりやめたりするのは、どのようなときですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1 バスや鉄道などが利用しにくい(乗り降りが難しいなど) |
| 2 障害者用の駐車場がない、または少ない |
| 3 歩道に問題が多い(せまい、障害物が多い、誘導ブロックがないなど) |
| 4 建物の設備が利用しにくい(階段、トイレ、案内表示など) |
| 5 休憩できる場所が少ない(身近な公園や歩道のベンチなど) |
| 6 介助者がいない |
| 7 介助者を頼むと利用料を負担しなければならない |
| 8 その他() |
| 9 特にない |
| 10 外出しない(したいと思わない) |

スポーツ・文化、社会参加活動についておたずねします

国では、教育やスポーツ・文化などのさまざまな機会に親しみ、豊かな人生を送ることができるようにすることを目的として、障害のある方が、子どもから大人まで一生涯を通じた多様な学習活動（生涯学習活動）の機会の確保に向けた検討を進めています。

問20 「あなた」は現在、生涯学習活動をしていますか。（1つに○）

1 している・ときどきしている

2 していない

→ 次のページの間21へ

問20 (1) 問20で「1 している・ときどきしている」に回答された方におたずねします。

「あなた」は、どのような内容の生涯学習活動をしていますか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 趣味的なもの（音楽、美術、生け花、舞踊、書道など）
- 2 教養的なもの（文学、歴史、語学、科学など）
- 3 社会問題（社会・時事問題、国際問題、環境問題など）の学習
- 4 健康づくり・スポーツ（健康法、医学、美容、栄養、水泳、ダンス、体操など）
- 5 家庭生活に役立つ学習（料理、裁縫、編み物など）
- 6 育児・教育（家庭教育、幼児教育・教育問題など）に関する学習
- 7 職業上必要な知識・技能の習得（仕事に関連した資格取得など）
- 8 パソコン・インターネット、情報通信分野（プログラムの使い方、ホームページの作り方など）の知識・技能の習得
- 9 ボランティア活動やそのために必要な知識・技能の習得（手話、点訳、介護など）
- 10 自然体験や生活体験などの体験活動（キャンプ・登山・ハイキングなど）
- 11 その他（ ）

問20 (2) 問20で「1 している・ときどきしている」に回答された方におたずねします。
 「あなた」が生涯学習活動をしている場所はどこですか。
 (あてはまるものすべてに○)

- 1 市が主催する講座や教室 (みんなのあまがさき大学など)
- 2 生涯学習プラザや身体障害者福祉センターなどで開催される講座や教室
- 3 カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の講座や教室、通信教育
- 4 学校 (高等学校、大学、大学院、専門学校など) の公開講座や教室
- 5 職場の研修
- 6 同好者が自主的に 行っている集まり、サークル活動
- 7 図書館や博物館、美術館での学習活動
- 8 テレビやラジオでの学習活動
- 9 情報端末やインターネットでの学習活動
- 10 書籍などでの学習活動
- 11 その他 ()

問21 「あなた」は、障害のある方の生涯学習活動を推進するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 活動に関する情報を提供すること
- 2 活動の参加につながるようなきっかけをつくること
- 3 自分の障害に対応した講座や学習資料を提供すること
- 4 活動する場においてバリアフリーが提供されること
- 5 一緒に学習や活動する仲間をつくること
- 6 活動内容や成果を発表できる場をつくること
- 7 活動経費を支援すること
- 8 介助者などの人的体制を整えること
- 9 その他 ()
- 10 特にない

じょうほう けいはつ さべつ かいしょう
情報、啓発・差別の解消についておたずねします

とい つか つうしんしゅだん なん
問26 「あなた」がふだん使っている通信手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 電話 (固定電話) | 5 パソコン (インターネット・メールなど) |
| 2 FAX | 6 郵便 (手紙・はがき) |
| 3 携帯電話・スマートフォンの通話 | 7 その他 () |
| 4 携帯電話・スマートフォンのメールなど | |

とい しやくしょ し りよう せいかつ かん
問27 「あなた」は、ふだん市役所からのお知らせやサービスの利用など、生活に関する情報を、主にどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 新聞・テレビ・ラジオ | 9 福祉活動をしている民間団体 |
| 2 所属している団体の会合や会報 | 10 家族・友人・知人 |
| 3 市・県が発行する広報紙・郵送物 | 11 ホームヘルパーや訪問看護師 |
| 4 市・県の保健福祉の窓口 | 12 ケアマネジャーや相談支援専門員 |
| 5 市・県のホームページ | 13 ボランティア |
| 6 インターネット | 14 民生委員・児童委員 |
| 7 学校・職場・障害福祉施設 | 15 その他 () |
| 8 病院・診療所・薬局など | 16 情報入手できていない |

とい しやくしょ ほんしん ひつよう じょうほう じゅうぶん え おも
問28 「あなた」は、市役所から発信される必要な情報を十分に得られていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------|-----------|
| 1 十分 | 3 やや不十分 |
| 2 ほぼ十分 | 4 まったく不十分 |

とい とい ふじゅうぶん ふじゅうぶん かいとう かた
問28 (1) 問28で「3 やや不十分」または「4 まったく不十分」と回答された方におたずねします。どのようなところが不十分なのかをご記入ください。

問29 「あなた」がふだん会話をするときやコミュニケーションを図る際に、用いる手段(手法)はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------|-------------------|
| 1 手話 | 9 サイン |
| 2 筆談 | 10 ジェスチャー |
| 3 要約筆記 | 11 代用音声 |
| 4 点字 | 12 ヘルパーによる支援 |
| 5 音訳 | 13 パソコン・スマートフォンなど |
| 6 拡大鏡 | 14 その他() |
| 7 絵や図 | 15 特にない |
| 8 写真 | |

問30 「あなた」は、これまでにコミュニケーションに支障を感じたことがありますか。(1つに○)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問30(1) 問30で「1 ある」と回答された方におたずねします。支障を感じた時の状況とその内容、そのときに必要に感じた支援などをご記入ください。

問31 「あなた」は、「尼崎市手話言語条例」を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1 よく知っている | 3 聞いたことはある |
| 2 多少は知っている | 4 まったく知らない |

問32 「あなた」は、日常生活において障害があるために差別や偏見を感じることはありませんか。(1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1 よく感じる | 4 まったく感じない |
| 2 ときどき感じる | |
| 3 ほとんど感じない | |

次のページの間32(1)へ

次のページの間33へ

問32 (1) 問32で「1」～「3」のいずれかに回答された方におたずねします。

どのようなときにそれを感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 教育の場 | 8 人間関係 |
| 2 冠婚葬祭 | 9 街のなかでの視線 |
| 3 スポーツ・趣味の活動 | 10 店などでの対応・態度 |
| 4 地域の行事・集まり | 11 行政機関での対応 |
| 5 交通機関の利用 | 12 施設や事業所での対応 |
| 6 病院や診療所での対応 | 13 その他 () |
| 7 仕事や収入 | |

問33 「あなた」は、障害のある方への不当な差別を禁止することや、障害のある方に「合理的配慮」を提供することなどを定めている「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1 よく知っている | 3 聞いたことはある |
| 2 多少は知っている | 4 まったく知らない |

問34 「あなた」は、障害^(※)に対する行政職員の理解が進んでいると思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 進んでいる | 4 多少後退してきている |
| 2 多少進んでいる | 5 後退してきている |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問35 「あなた」は、障害^(※)に対する市民の理解が進んでいると思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 進んでいる | 4 多少後退してきている |
| 2 多少進んでいる | 5 後退してきている |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

(※)「障害」には、身体・知的・精神(発達障害を含む)の障害や難病を含みます。

けんりようご ぎょうせい どう はいりよ
権利擁護、行政サービス等における配慮についておたずねします

とい ぎゃくだい う とき はっけん とき つうほうさき し
 問36 「あなた」は、虐待を受けた時や発見した時の通報先があることを知っていますか。
 (1つに〇)

- 1 し 知っている 2 し 知らない

とい しょうがい はんだんのうりよく ふじゅうぶん ひと ざいさんかんり けいやくてつづ
 問37 「あなた」は、障害などにより、判断能力が不十分な人の財産管理や契約手続き
 などを支援する「成年後見制度」を知っていますか。(1つに〇)

- 1 し よく知っている 3 き 聞いたことはある
 2 たしょう し 多少は知っている 4 し まったく知らない

ふくしせさく
福祉施策についておたずねします

とい こんご あまがさきし く とく じゅうじつ のそ なん
 問38 「あなた」が今後も尼崎市で暮らしていくために、特に充実を望むことは何ですか。
 (あてはまるもの3つまでに〇)

- 1 ひitori しょうがい りょういく 一人ひとりの障害にあった療育
 2 しょうがい かた りかい ふか こうほうかつどう じゅうじつ 障害のある方への理解を深める広報活動の充実
 3 まな ぼめん ふくしきょういく じゅうじつ さまざまな学びの場での福祉教育の充実
 4 にちじょうてき かいご ざいたくふくし じゅうじつ 日常的な介護などの在宅福祉サービスの充実
 5 しょうがい かた こよう きぎょう はたら 障害のある方の雇用の企業への働きかけ
 6 しょうがい かた しゅうろうせつ じゅうじつ 障害のある方の就労施設の充実
 7 ほうもんかんご きのうくんれん ほけん いりょう じゅうじつ 訪問看護や機能訓練などの保健・医療サービスの充実
 8 しょうがい かた りよう どうろ こうきょうせつ せいび 障害のある方が利用しやすい道路や公共施設の整備
 9 ふくし つ いどうしゆだん じゅうじつ 福祉タクシーやリフト付きバスなど移動手段の充実
 10 しょうがい かた ふくしせつ せいかつかいご たんきにゅうしょ じゅうじつ 障害のある方のための福祉施設（生活介護・短期入所など）の充実
 11 りよう そうだんまどぐち せいび わかりやすく、利用しやすい相談窓口の整備
 12 なん はな あ そうだんあいて なかま み ば いつでも何でも話し合える相談相手や仲間を見つける場
 13 ねんきん てあて じゆきゅう いりょうひ けいげん 年金や手当の受給や医療費の軽減など
 14 しょうがい かた ふんかかつどう さんか かんきょうせいび 障害のある方がスポーツ・レクリエーション、文化活動に参加しやすい環境整備
 15 しょうがい かた たい かつどう いくせい しえん 障害のある方に対するボランティア活動の育成・支援
 16 た その他 ()
 17 とく 特にない

おも かいじょ かに こと
主に介助している方がお答えください

とい 問40 (あて名の) ご本人との関係はどれですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 1 配偶者(妻または夫)
はいぐうしゃ つま おっと | 7 孫
まご |
| 2 父親・母親
ちちおや ははおや | 8 親戚
しんせき |
| 3 子ども
こ | 9 友人・知人・近所の人
ゆうじん ちじん きんじょ ひと |
| 4 子の配偶者
こ はいぐうしゃ | 10 ヘルパーや施設職員
しせつしよくいん |
| 5 兄弟・姉妹
きょうだい しまい | 11 ボランティア |
| 6 祖父母
そふぼ | 12 その他() |

とい 問41 年齢はおいくつですか。

() さい 歳

とい 問42 (あて名の) ご本人が生活していく上で、今後、不安に感じていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 日常の介助者がいるか
にちじょう かいじょしゃ
- 2 将来いっしょに暮らす家族がいるか
しょうらい く かぞく
- 3 地域の中で暮らしていけるか
ちいき なか く
- 4 結婚できるか
けっこん
- 5 必要な医療や機能訓練が受けられるか
ひつよう いりよう きのうくんれん う
- 6 働く場があるか
はたら ば
- 7 十分な収入があるか
じゅうぶん しゅうにゅう
- 8 災害や病気・事故などで命に危険がある時、すぐに助けにきてもらえるか
さいがい びょうき じこ いのち きけん とき たす
- 9 住宅が確保できるか
じゅうたく かくほ
- 10 本人が高齢になったときのこと
ほんにん こうれい
- 11 介助者が高齢になったときのこと
かいじょしゃ こうれい
- 12 希望する施設に通所できるか
きぼう しせつ つうしよ
- 13 希望する施設に入所できるか
きぼう しせつ にゅうしよ
- 14 病状の悪化や再発のこと
びょうじょう あっか さいはつ
- 15 財産や金銭の管理のこと
ざいさん きんせん かんり
- 16 その他()
た
- 17 特にない
とく

とい かいじょ うえ こま なや そうだん ひと ばしょ

問43 介助をする上での困りごとや悩みを相談する人や場所はどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1 家族・親戚
かぞく しんせき
ゆうじん ちじん | 12 地域包括支援センター
ちいきほうかつしえん
かいごほけんせいど もと こうれいしゃ そうだんまどぐち
(介護保険制度に基づく高齢者の相談窓口) |
| 2 友人・知人
きんじょ ひと | 13 民生委員・児童委員
みんせいいいん じどういいん |
| 3 近所の人
ほいくしょ えん ようちえん がっこう | 14 障害者相談員
しょうがいしゃそだんいん |
| 4 保育所(園)・幼稚園・学校
しよくば | 15 障害者団体や家族会、患者会
しょうがいしゃだんたい かぞくかい かんじゃかい |
| 5 職場
びょういん しんりょうしょ いりょうそだん | 16 発達障害者支援センター
はつたつしょうがいしゃしえん |
| 6 病院・診療所(医療相談)
う | 17 難病相談センター
なんびょうそだん |
| 7 サービスを受けているところ
しせつ さぎょうしょ じぎょうしょ
(施設・作業所・事業所) | 18 その他() |
| 8 ケアマネジャー | 19 相談する人はいない |
| 9 ヘルパー | 20 相談するところがわからない |
| 10 市役所の職員
しやくしょ しよくいん | 21 相談しない(することがない) |
| 11 相談支援事業所などの民間の相談窓口
そだんしえんじぎょうしょ みんかん そだんまどぐち
(相談支援専門員など) | |

とい な ほんにん こんご す てき おち

問44 (あて名の) ご本人にとって、今後、どんな住まいが適していると思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|--------------------------------------|
| 1 一戸建て
いっこだ | 4 障害者支援施設(入所)
しょうがいしゃしえんしせつ にゅうしょ |
| 2 集合住宅
しゅうごうじゅうたく | 5 特別養護老人ホーム(入所)
とくべつようごろうじん にゅうしょ |
| 3 グループホーム | 6 その他() |

とい とい かいとう す く ひつよう おち

問45 問44 で回答した住まいで暮らすためには、どんなことが必要だと思いませんか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 ホームヘルプなど、必要なサービスが適切に利用できること
ひつよう てきせつ りよう |
| 2 日常生活を支えてくれる方がいること
にちじょうせいかつ ささ かた |
| 3 就労に対する支援が受けられること
しゅうろう たい しえん う |
| 4 金銭的な援助が受けられること
きんせんてき えんじょ う |
| 5 成年後見制度が利用できること
せいねんこうけん りよう |
| 6 利用できるグループホームが身近にあること
りよう みちか |
| 7 障害のある方や高齢の方のための入所施設が身近にあること
しょうがい かた こうれい かた にゅうしょしせつ みちか |
| 8 その他() |
| 9 特にない |

きょうりよく ちょうさひょう どうふう へんしんようふうとう い
ご協力ありがとうございました。この調査票を同封の返信用封筒に入れて、
ぎって は れいわ ねん がつ にち きん い
切手を貼らずに令和2年2月28日(金)までにポストに入れてください。